

2021 年度 研究所事業報告書

研究所名	国際地域研究所
------	---------

I. 研究成果の概要（公開項目） ※1ページ以内にまとめること

本欄には、研究所・センターの実施した研究の成果について、その具体的内容、意義、重要性等を、研究所総合計画(5 ヵ年)および 2020 年度重点プロジェクト申請調書に記載した内容に照らし、項目立てなどをおこなうできるだけわかりやすく記述してください。なお、2020 年度に採択を受けた研究所重点プロジェクトの実績報告は、書式 B に記述のうえ提出してください。

本研究所(国際地域研究所[以下 国地研])は、1989 年の設立以降、国際関係学と地域研究の両分野において、先端的な研究活動をリードすることで、国内外の学術コミュニティに貢献しようと努めてきた。その大きな目標からみて、2015 年までの到達点を、国地研の「発展第一ステージ」、2016 年以降「発展第二ステージ」と位置づけている(5 ヵ年計画が、1 年延長されたため、2021 年度まで)。この「第二ステージ」では、「国地研アイデンティティ」の創造と、その国内外への浸透を掲げて活動を進めてきた。国地研、あるいは立命館大学全体として豊富に知的蓄積がなされてきたのは、国際関係学分野においては「平和研究」であり、地域研究分野においては「アジア研究」である。この強みを生かし、さらに伸ばすことで、国地研を「平和研究」及び「アジア研究」の重要な研究拠点として、国内外に打ち出すべく、2021 年度も活動を進めた。具体的には、2 つの重点プロジェクトを国際展開の牽引役として位置づけ、国内外に国地研のプレゼンスを発揮させることに務めた。同時に 6 つの研究所内プロジェクトを設置し、新規の萌芽的研究課題と、継続の研究課題の両方をバランスよく支援した。

その際、昨年以來意識してきた平和研究の「紛争・平和構築研究プロジェクト」と、アジア研究の「中国強国化プロジェクト」という二つの重点プロジェクトの連携強化・深化を、2021 年度も意識した。加えて、アフガニスタンからのアメリカの撤退や、ロシアによるウクライナ侵攻を受けて、改めて武力紛争に焦点を当てて分析を深めた点が特筆すべき活動であった。また、新型コロナウイルス感染症の蔓延継続という状況下で、いかに研究所の研究活動を充実させ、また研究成果の発信を行うか、という観点から、オンラインのサーベイ調査を実施するとともに、研究所ホームページを活用したり、ウェブコラムシリーズを刊行したり、あるいはウェビナーを積極的に公開開催したりしつつ、研究成果の発信に努めた。実際ウクライナ問題を検討するウェビナーには 150 名を超える参加者があり、またこうしたウェビナーやコラムをきっかけに、研究所に対する取材依頼が複数来るなど、コロナでも一定程度社会との接点を持つことができた。

また、若手による研究成果発信を促すためにも、研究所として、若手メンバーの研究指導にも力を入れた。若手研究者に対して、プロジェクトの研究会で報告をしたり、司会、討論を務める経験を積ませたりするとともに、メンバー共同で論文指導を行ったうえで、その成果については国際ジャーナルや、国際地域研究所発行の紀要等に投稿するよう促した。

以上の活動を踏まえた、研究所の 2021 年度の主要な成果は以下の通りである。重点プロジェクトの「紛争・平和構築研究」では、新型コロナウイルス蔓延が、人々の平和と安全や紛争に与える影響を中心に研究し、その成果は、国地研 web コラム「国際情勢解説」、その他国際シンポジウム(ウェビナー)、ウェビナー、研究会などによる発信に加え、図書出版 19 点、論文 24 本、学会発表 52 回、メディア掲載や講演 63 回であった。同じく重点プロジェクトの「中国強国化と国際秩序」では、図書出版 5 点、論文 13 本、学会発表 23 回、メディア掲載や講演 4 回であった。

研究所内プロジェクトは、「日米中政治経済研究会」、「中国法・アジア法研究会」、「アフリカ研究会」、「アフガニスタン研究会」、「平和主義研究会」に加え、2021 年度からは「実験政治学研究会」を新設し、それぞれ積極的な研究活動を行った。とりわけ、「実験政治学研究会」は、移民をめぐる日本人の意識に関する、大規模オンラインサーベイ調査を実施した。その成果は多岐に渡るため、ここでは紹介しないが、以下の研究業績欄を参照して頂ければ幸いである。

総合的に、研究成果については 5 ヵ年計画と照らしても順調に進捗した。また、そうした成果を生かしながら、プロジェクトメンバーを代表とする科研費基盤 A の獲得にも成功した。この間、研究所の成果をいかに、大型外部資金獲得につなげていくかという点の一つの課題となってきたが、ようやくそうした努力が実ったといえる。研究所の研究活動を充実させるとともに、その成果を踏まえた、さらなる外部資金獲得につなげていけるよう、この経験を生かしていく。

II. 拠点構成員の一覧（公開項目）※ページ数の制限は無し

本欄には、2022年3月31日時点で各拠点にて所属が確認されている本学教員や若手研究者・非常勤講師・客員協力研究員等の構成員を全て記載してください。区分が重複する場合は二重に記入せず、役割が上にあるものから優先し全て記載してください。また、若手研究者の条件に当てはまる場合は、若手研究者欄に記載をしてください。

※若手研究者とは、立命館大学に在籍する以下の職位の者と定義します。

①専門研究員・研究員、②補助研究員・RA、③大学院生、④日本学術振興会特別研究員(PD・RPD)

役割	氏名	所属	職位
研究所長・センター長	足立研幾	国際関係学部	教授
運営委員	末近浩太	国際関係学部	教授
	石川幸子	国際関係学部	教授
	嶋田晴行	国際関係学部	教授
	岩田拓夫	国際関係学部	教授
	中本悟	経済学部	教授
	守政毅	経営学部	教授
	宮脇昇	政策科学部	教授
	小田美佐子	法学部	准教授
	廣野美和	グローバル教養学部	准教授
学内教員 (専任教員、研究系教員等)	本名純	国際関係学部	教授
	君島東彦	国際関係学部	教授
	村上剛	法学部	准教授
	藪中三十二	国際関係学部	客員教授
	高須幸雄	国際関係学部	客員教授
	中戸祐夫	国際関係学部	教授
	白戸圭一	国際関係学部	教授
	松田正彦	国際関係学部	教授
	安高啓朗	国際関係学部	准教授
	鳥山純子	国際関係学部	准教授
	森下明子	国際関係学部	准教授
	福海さやか	国際関係学部	准教授
	馬場多聞	文学部	准教授
	黒田彩加	立命館アジア・日本研究機構	准教授
	陳晋	経営学部	特別任用教授
	竇少杰	経営学部	専任講師
	角本和理	政策科学部	准教授
	板木雅彦	国際関係学部	教授
	渡邊 松男	国際関係研究科	教授
	学内の若手研究者	① 専門研究員 研究員 初任研究員	
② リサーチアシスタント			
③ 大学院生		Chaula R. Anindya	国際関係研究科

Jang Youngjoo	國際關係研究科	博士課程後期課程
Khairul Hasni	國際關係研究科	博士課程後期課程
Lee Jaiyong	國際關係研究科	博士課程後期課程
Radesa Budipramono	國際關係研究科	博士課程後期課程
Yami Roca	國際關係研究科	博士課程後期課程
Yusy Widarahesty	國際關係研究科	博士課程後期課程
山田翔太	國際關係研究科	博士課程後期課程
吉村拓人	政策科学研究科	博士課程後期課程
山上亜紗美	政策科学研究科	博士課程後期課程
Cristina Longu	國際關係研究科	博士課程前期課程
Luca Vogel	國際關係研究科	博士課程前期課程
山本啓太	國際關係研究科	博士課程前期課程
浅野正一	國際關係研究科	博士課程前期課程
塚越匠	國際關係研究科	博士課程前期課程
飯澤さやか	國際關係研究科	博士課程前期課程
米田優作	國際關係研究科	博士課程前期課程
和田悠佑	國際關係研究科	博士課程前期課程
于晴	國際關係研究科	博士課程前期課程
稲澤拓郎	政策科学研究科	博士課程前期課程
Grace Constantino Donaldson	國際關係研究科	博士課程後期課程
Lwin Cho Latt	國際關係研究科	博士課程後期課程
Mina Tadrous	國際關係研究科	博士課程後期課程
Nimid Ang	國際關係研究科	博士課程後期課程
成虹波 (Cheng Hongbo)	國際關係研究科	博士課程後期課程
任泰然 (Ren Tairan)	國際關係研究科	博士課程後期課程
步亦飛 (Bu Yifei)	國際關係研究科	博士課程後期課程
楊鵬超 (Yang Pengzhao)	國際關係研究科	博士課程後期課程
Adam Kyle Gray	國際關係研究科	博士課程前期課程
Jiaxin Yue	國際關係研究科	博士課程前期課程
Kairatbek Zhekshenov	國際關係研究科	博士課程前期課程
Shouji Liu	國際關係研究科	博士課程前期課程
Tien Ce Joe	國際關係研究科	博士課程前期課程
Wei Chen	國際關係研究科	博士課程前期課程
Yi Zhang	國際關係研究科	博士課程前期課程
Zujue Wang	國際關係研究科	博士課程前期課程
安家宇 (An Jiayu)	國際關係研究科	博士課程前期課程
瓜生利郎	國際關係研究科	博士課程前期課程
王慶慧 (Wang Qinhui)	國際關係研究科	博士課程前期課程
夏子淨 (Xia Zijing)	國際關係研究科	博士課程前期課程
佐藤和馬	國際關係研究科	博士課程前期課程
楊心怡 (Yang Xinyi)	國際關係研究科	博士課程前期課程

	楊盛超 (Yang Shengchao)	国際関係研究科	博士課程前期課程
	李佳昱 (Li Jiayu)	国際関係研究科	博士課程前期課程
	李妍君 (Li Yanjun)	国際関係研究科	博士課程前期課程
	劉美杉 (Liu Meishan)	国際関係研究科	博士課程前期課程
	林晨輝 (Lin Chenhui)	国際関係研究科	博士課程前期課程
	濮安琪 (Pu Anqi)	国際関係研究科	博士課程前期課程
	邢芷寧 (Xing Zhining)	国際関係研究科	博士課程前期課程
	Hu Jingwen	経営学研究科	博士課程前期課程
	遠藤あかり	国際関係研究科	博士課程前期課程
	岡田啓輔	国際関係研究科	博士課程前期課程
	李敬	国際関係研究科	博士課程前期課程
	Li Ruiyang	経済学研究科	博士課程前期課程
	④ 日本学術振興会特別研究員 (PD・RPD)	池端路子	衣笠総合研究機構
その他の学内者 (補助研究員、非常勤講師、研究生、研修生等)	申鉉旻	国際関係学部	授業担当講師
	円城由美子	国際関係学部	授業担当講師
	Andrei Yamamoto	国際関係学部	授業担当講師
	玉井良尚	政策科学部	授業担当講師
	藤田明史	国際関係学部	非常勤講師
	山根和代	国際関係学部	授業担当講師
客員協力研究員	Ivanova Polina	京都外国語大学	非常勤講師
	玉井雅隆	東北公益文科大学	准教授
	藤岡純一	関西福祉大学	特任教授
	クロス京子	京都産業大学	准教授
	岡野英之	近畿大学	講師
	Sugit Arjon	国際地域研究所	客員研究員
	佐々木葉月	金沢大学	講師
	鈴木章悟	マンチェスター大学	准教授
	韓金江	岐阜協立大学	教授
	近藤信一	岩手県立大学	准教授
	南玉瓊	アジア人材研究所	非常勤講師
	楊秋麗	京都橘大学	准教授
	魏聰哲	中華経済研究院第3研究所	副研究員
	ドイル恵美	京都大学経営管理大学院	特定講師
	潘燕萍	深圳大学経営学部	講師
	田村あずみ	滋賀大学国際交流機構	特任講師
井出文紀	近畿大学経営学部	准教授	

	小山大介	宮崎大学テニユアトラック推進機構	准教授
	松村博行	岡山理科大学経営学部	准教授
	森原康仁	三重大学人文学部	准教授
	田村太一	流通経済大学	准教授
その他の学外者	Adhi Priamarizki	シンガポールナンヤン工科大学	客員教授
	Agus Trihartono	Jember University	講師
	Amitav Acharya	American University	教授
	Lam Peng Er	National University of Singapore	教授
	Mely Cabellero Anthony	Nanyang Technological University	教授
	Shofwan Albana C	University of Indonesia	講師
	Ukrist Pasmanand	Chulalongkom University	教授
	吉川元	広島平和研究所	教授
	村上友章	流通科学大学	准教授
	長有紀枝	立教大学	教授
	坪内淳	聖心女子大学	教授
	白石隆	熊本県立大学	理事長
	Nicholas A. R. Fraser	Canadian Studies Program, UC Berkeley	Research Fellow
	フリポ・ボニ	オープン大学(英国)	准教授
	薛軍	南開大学(天津)	教授
	青山瑠妙	早稲田大学	教授
	大門毅	早稲田大学	教授
	ティムール・ダダバエフ	筑波大学	准教授
	梶谷懐	神戸大学	教授
	苑志佳	立正大学	教授
	徐林卉	上海社会科学院	副研究員
	向渝	香川大学	准教授
	河知延	近畿大学産業理工学部	教授
	Gina Aghnia Virginianty	インドネシア外務省	職員
	Kirill Aleshin	Institute for African Studies, Russian Academy	Researcher
	Hyosook Kim	関西外語大学	准教授
	Seifudin Adem	同志社大学	教授
	尾和潤美	中京大学	准教授
	野島大輔	千里国際学園	教諭
	朱曄	静岡大学サステナビリティセンター	教授
朱省志	中国広東技術師範大学法学部	専任講師	

	松嶋紀美子	大阪市大創造都市研究科	博士後期課程院生
	井上 博	阪南大学流通学部	教授
	櫻井公人	立教大学経済学部	教授
	千葉 典	神戸市立大学外国語学部	教授
	石田周	愛知大学地域政策学部	助教
	渡邊英俊	島根大学	准教授
	内藤正典	同志社大学グローバル・スタディーズ研究科	教授
	鈴木 均	アジア経済研究所	上席主任研究員
	Parviz Ahmad VALLIZADAH	ヘラート大学	准教授
	山口 沙季子	Faculty of Medicine and Health Sciences, McGill University	Research Assiatant
研究所・センター構成員 計 152 名 (うち学内の若手研究者 計 55 名)			

Ⅲ. 研究業績 (公開項目) ※ページ数の制限は無し ※to be published,の状態の業績は記載しないで下さい。

本欄には、「Ⅱ. 拠点構成員の一覧」に記載した研究者の研究業績のうち、拠点に関わる研究業績を全て記載してください。(2022年3月31日時点) また、書式Bの研究業績欄との二重記載をお願いいたします。

1. 著書							
No.	氏名	著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行年月	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	その他編者・著者名	担当頁数
1	Adem. S.	Postcolonial Constructivism	単著	2021年3月	Palgrave		
2	Kenki Adachi	Changing Arms Control Norms in International Society	単著	2021年4月	Routledge		pp.1-171.
3	Kim. H.	South Korea's Foreign Aid: The Domestic Politics of Middle Power Diplomacy	単著	2022年1月	Routledge		
4	クロス京子	『現代アジアをつかむ』	共著	2022年3月	明石書店	佐藤史郎・石坂晋哉編	
5	井出文紀	対シンガポール援助 被援助国から援助国へ	単著	2021年6月	『日本の国際協力 アジア編』ミネルヴァ書房	重田康博、太田和宏、福島浩治、藤田和子編	pp.140-145
6	井出文紀	対マレーシア援助 『ルック・イースト』から三〇年	単著	2021年6月	『日本の国際協力 アジア編』ミネルヴァ書房	重田康博、太田和宏、福島浩治、藤田和子編	pp.134-139
7	井出文紀	『一帯一路』と受け入れ途上国—援助か『債務の罠』か	単著	2022年3月	『米中経済摩擦の政治経済学 大国間の対立と国際秩序』晃洋書房	中本悟、松村博行編	pp.199-221
8	井出文紀	アジアの経済成長プロセスとその行方	単著	2022年3月	『現代アジアをつかむ』明石書店	佐藤史郎、石坂晋哉編	pp.151-164
9	井上 博	米中経済のデカップリングとアメリカ製造業の「復活」—サプライチェーンの再構築と国内回帰—	単著	2022年3月	『米中経済摩擦の政治経済学 大国間の対立と国際秩序』晃洋書房	中本悟・松村博行編著	pp.159-177
10	岡野英之	『新型コロナウイルス感染症と人類学—パンデミックとともに考える』	共著	2021年4月	水声社	浜田明範・西真如・近藤祉秋・吉田真理子編	pp.248-266
11	岡野英之	『日本の国際協力／中東・アフリカ編—貧困と紛争にどう向き合うか』	共著	2021年8月	ミネルヴァ書房	阪本 公美子・岡野内正・山中達也編	pp.161-162
12	岡野英之	『西アフリカ・エボラ危機 2013—2016—最貧国シエラレオネの経験』	単著	2022年3月	昭和堂		

13	吉川元	『広島発の平和学』	共著	2021年8月	法律文化社	広島平和研究所	pp.177-194
14	吉川元	『アジアの平和とガバナンス』	共著	2022年3月	有信堂	広島平和研究所	pp.3-14 pp.106-116
15	宮脇昇	『新グローバル公共政策改訂新版』	共編著	2001年4月	晃洋書房	庄司真理子	
16	宮脇昇	『戦争と民主主義の国際政治学』	単著	2021年11月	日本経済評論社		
17	近藤信一	中国のハイテク産業と技術の現状—米中ハイテク摩擦と半導体産業の技術デカップリング—	単著	2022年3月	晃洋書房	中本悟・松村博行編	pp.117-139
18	朱擘	よくわかる中国法	共著	2021年9月	ミネルヴァ書房	王雲海、周劍龍、周作彩編	pp.77-104
19	小山大介	付加価値貿易から見た米中貿易—もう1つの「国際分業」の影—	単著	2022年3月	『米中経済摩擦の政治経済学 大国間の対立と国際秩序』晃洋書房	中本悟・松村博行	pp.51-69
20	小山大介	変容する日本経済:真に豊かな経済・社会への課題と展望	共著	2022年3月	鉾脈社	小山大介・森本壮亮	pp.24-38 pp.106-123 pp.234-257
21	松村博行	科学技術領域にみる米中対立の構図—相互依存からデカップリングへの転換はなぜ生じたのか—	単著	2022年3月	『米中経済摩擦の政治経済学 大国間の対立と国際秩序』晃洋書房	中本悟・松村博行編	pp.141-158
22	松村博行	南シナ海にみる大国の角逐	単著	2022年3月	『現代アジアをつかむ』明石書店	佐藤史郎、石坂晋哉編	pp.296-306
23	森原康仁	自由な越境移転か、ローカライゼーションか—「データ」をめぐる米中の角逐	単著	2022年3月	『米中経済摩擦の政治経済学 大国間の対立と国際秩序』晃洋書房	中本悟・松村博行編	pp.95-115
24	千葉 典	大国の食料貿易—食料安全保障と世界的なインパクト—	共著	2022年3月	晃洋書房	中本悟・松村博行	pp.71-91 (渡邊英俊との共著)
25	足立研幾	『プライマリー国際関係学』	共編著	2021年4月	ミネルヴァ書房	板木雅彦、白戸圭一ほか	pp.1-318
26	池端路子	『現代人のためのイスラーム入門:クルアーンの真髄を解き明かす12章』	共訳	2021年7月	中央公論新社	ガーズイー・イブン・ムハンマド著、小杉泰共訳	
27	池端路子	『中東・イスラーム世界への30の扉』	共著	2021年7月	ミネルヴァ書房	西尾哲夫・東長靖編	pp.329-330
28	中川涼司	「発展途上国の開発問題と持続可能な開発目標(SDGs)」	単著	2021年4月	『プライマリー国際関係学』ミネルヴァ書房	足立研幾・板木雅彦・白戸圭一・鳥山純子・南野泰義編	pp.114-130
29	中川涼司	「米中関係の現段階—中国の国際秩序変更者としての台頭とアメリカの「強硬な関与政策」	単著	2022年3月	『米中摩擦の政治経済学』晃洋書房	中本悟・松村博行編著	pp.181-198
30	中本悟	米中2つの資本主義体制の経済摩擦	単著	2022年3月	晃洋書房	中本悟・松村博行編	pp.223-246
31	田村太一	米中間における貿易不均衡の構造—アジア太平洋における国際分業と企業行動	単著	2022年3月	『米中経済摩擦の政治経済学 大国間の対立と国際秩序』晃洋書房	中本悟、松村博行編	pp.33-49
32	渡邊英俊	メガFTA/EPAと食料貿易	単著	2021年9月	『アグリビジネスと現代社会』(日本農業市場学会研究叢書21)筑波書房	冬木勝仁・岩佐和幸・関根佳恵編	pp.67-78
33	渡邊英俊	大国の食料貿易—食料安全保障と世界的なインパクト—	共著	2022年3月	『米中摩擦の政治経済学』	中本悟・松村博行編著	pp.71-91 (千葉典との共著)
34	嶋田晴行	『アフガニスタンを知るための70章』	共著	2021年10月	明石書店	前田耕作・山内和也編著	pp.350-354
35	嶋田晴行	復興への日本の貢献—外交と安全の間で	単著	2021年10月	明石書店、『アフガニスタンを知るための70章』		pp.350-354
36	内藤正典	教えて! タリバンのこと 世界の見かたが変わる緊急講座	単著	2022年3月	ミシマ社		
37	本名純	『プライマリー国際関係学』	共著	2021年4月	ミネルヴァ書房	足立研幾他編	pp.218-234

38	本名純	『新興国から見るアフターコロナの時代: 米中対立の間に広がる世界』	共著	2021年12月	東京大学出版会	川島真・池内恵編	pp.81-89
39	末近浩太	『プライマリー国際関係学』	共著	2021年4月	ミネルヴァ書房	足立研幾他編	pp.167-185
40	末近浩太	『中東・イスラーム世界への30の扉』	共著	2021年7月	ミネルヴァ書房	西尾哲夫・東長靖編著	pp.269-278
41	末近浩太	『インフォーマルな政治制度とガバナンス(日本比較政治学会年報第23号)』	共著	2021年9月	ミネルヴァ書房	日本比較政治学会編	i-x
42	末近浩太	『教養としての中東政治』	共著	2022年3月	ミネルヴァ書房	今井宏平編	--
43	廣野美和	Impact of China's decision-making processes on international cooperation: cases of peacekeeping and humanitarian assistance/disaster relief	単著	2021年11月	Routledge	Catherine Jones, Garren Mulloy	pp.54-71
44	竇少杰	『パナソニックのグローバル経営ー仕事と報酬のガバナンスー』	共著	2022年1月	ミネルヴァ書房	石田光男、上田眞士	第5章第2節
45	竇少杰	『現代中国の経済と社会』	共著	2022年3月	中央経済社	横井和彦	第1~8章、第10章、第11章

2. 論文								
No.	氏名	著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行年月	発行所、発表雑誌、巻・号数	その他編者・著者名	担当頁数	査読有無
1	Grace Donaldson	How Effective Is China's Soft Power Diplomacy in FSM?: The University of Guam's FSM Students Perspectives	単著	2021年	University of Guam, <i>Pacific Asia Inquiry</i> , Vol. 12		pp.305-324	有
2	Kenki Adachi	"Book Review: Ken Miichi and Yuka Kaneya eds., Politics in Southeast Asia in the Age of Social Media, 2020"	単著	2021年	<i>Journal of the Asia-Japan Research Institute of Ritsumeikan University</i> , Vol.3		pp.110-112	無
3	Kyoko Cross	"The Pursuit of Justice, Truth, and Peace: Reflections on 20 Years of Imperfect Transitional Justice in Timor-Leste"	単著	2021年5月	<i>Asian Journal of Peacebuilding</i> 9(1)		pp.139-161	有
4	Noboru Miyawaki, et al.	"Border Closures in Mongolia in the Era of Hybrid Warfare: Did the COVID-19 hit democratic regimes?"	共著	2021年	立命館大学政策科学会、 <i>Journal of Policy Science</i> , Vol.14,		pp.111-143.	無
5	Polina Ivanova	"International Student Support Organizations in Japan and Australia: Response to the COVID-19 Crisis"	単著	2021年10月	<i>Journal of the Asia-Japan</i> , 3		pp.63-81	有
6	Polina Ivanova	"Mission statements of Japanese civil society organizations supporting international students in the Kansai area: Critical discourse analysis"	単著	2021年	<i>Journal of Comparative & International Higher Education</i> , 13 (2), Online			有
7	Takuo Iwata	Revisiting Border Issues in Africa: a reflection on the border	単著	2021年12月	Ritsumeikan annual review of international studies, Vol.20		pp.1-23	無

		of the French colony Upper Volta						
8	Yusy Widrahesty	“No Time to Be Sick: Precarious Cycle of the Indonesian Technical Internship Trainee Program/TITP from Pre-Departure to Destination Country in Japan.”	単著	2022年3月	Ritsumeikan Journal of International Relations and Area Studies, Vol.54		pp.41-62	有
9	井出文紀	「着地型観光としての アルコールツーリズム —長野県佐久地域に おける二つの展開事 例—」	共著	2021年9月	近畿大学商経学会『商経学叢』 68巻1号	高橋 愛典、四宮 由紀子	pp.353-381	無
10	井出文紀	「コロナ危機と東南ア ジア経済」	単著	2022年1月	新日本出版社『経済』316号		pp.63-69	無
11	井上 博	米中経済摩擦の政治 経済学—大国間の対 立と国際秩序	共著	2022年3月	晃洋書房	中本悟・松村博行 編著	pp.159-177	
12	岡野英之	「コロナ禍でのタイに おける「調整」—ウイ ルスとの相互作用とそ の経時変化についての 民族誌的記述—」	単著	2021年	『タイ研究』21号		pp.51-69	有
13	宮脇昇	『ドンスコイ』の捕虜 収容過程に関する研 究	共著	2021年6月	軍事史学、57巻1号	軍事史学会編	pp.24-47	有
14	宮脇昇	「国際制度の硬化と劣 化」『公共政策研究』	単著	2021年12 月	日本公共政策学会、『公共政策 研究』21号		pp.90-101	無
15	近藤信一	中国スマート製造の 現状と展望—主導権 を握るのはメーカー かITベンダーか	単著	2021年9月	(一財)日中経済協会、日中経協 ジャーナル、2021年9月号	-	pp.24-27	無
16	君島東彦	ノーベル平和賞を「市 民化」する	単著	2021年4月	政治経済研究所、政経研究時 報、23巻4号		pp.10-13	無
17	山根和代	日本の平和博物館	単著	2021年6月	ピース・アルマナック 2021	梅林宏道監修	pp.230-233	有
18	朱擘	中国民法典の解釈に 関する見通し	単著	2022年3月	静岡法務雑誌 13号		pp.123-131	有
19	小田美佐子	歴史的慣性—中国民 法典における債権総 則の取捨	単訳	2022年3月	静岡法務雑誌 13号	朱慶育	pp.55-67	有
20	松村博行	序論—イノベーション ・エコシステムと安 全保障	単著	2021年6月	『国際安全保障』49巻1号		pp.1-17	無
21	森原康仁	GAFA と企業の社会 的責任	単著	2021年10 月	『中小商工業研究』第149号		pp.29-37	無
22	森原康仁	自由な越境移転か、 ローカライゼーション か—米中間の構造 問題としてのデータを めぐる角逐	単著	2021年11月	『国際経済』(早期公開版のた め巻号なし)		pp.1-25	有
23	石川幸子	The Impact of COVID- 19 on Peace and Stability in Mindanao: Nested Protection and Downside Risk	単著	2021年12 月	JICA 緒方貞子平和開発研究所 プロジェクト「東アジアにおける 人間の安全保障の実践」フェー ズ3, ワーキングレポート			
24	足立研幾	「書評 末近浩太・遠 藤貢編著『紛争が変 える国家』」	単著	2021年6月	『立命館アジア・日本研究学術 年報』第2号		pp.182-184	無
25	池端蒨子	<研究報告> 宗教復 興以降の国際機構と 国際政治—ヨルダンと イスラーム諸国がめざ	単著	2021年6月	『立命館アジア・日本研究学術 年報』第2号		pp.47-52	有

		す新パラダイムー						
26	中川涼司	「中国経済の2つの『窓』としての香港、台湾とその役割変化」	単著	2021年9月30日	日本現代中国学会『現代中国』95号		pp.35-51	無
27	中川涼司	「大連万達集団(ワンダ・グループ)の国際展開とレジェンダリー社買収の意味：中国文化産業多国籍企業の発展」	単著	2021年10月	立命館大学国際関係学会、『立命館国際研究』第34巻第2号		pp.1-33	無
28	中本悟	座談会記録「動き出すアメリカとバイデン政権」	単著	2021年8月	『経済』No.311		pp.14-33	無
29	田村太一	「中間層」の再興ははかれるか—現代アメリカの経済格差	単著	2021年8月	『経済』No.311		pp.46-56	無
30	田村太一	米中貿易摩擦とグローバル・バリューチェーン	単著	2021年11月	『国際経済』(日本国際経済学会)(早期公開)		pp.1-23	有
31	白戸圭一	「追悼 デクラー元南アフリカ大統領 アパルトヘイト廃止の英断とその先の課題」	単著	2021年11月	都市出版、『外交』第70号		pp.130-135	無
32	白戸圭一	「第2章 TICAD8を前に」	単著	2022年2月	国際貿易投資研究所、『令和3年度 ニューノーマル・アフリカとの協働ビジネス構築の調査研究』第125号		pp.7-13	無
33	米田優作	書評「大川玲子、『リベラルなイスラーム：自分らしくある宗教講義』(慶應義塾大学出版会、2021年)」	単著	2021年8月	CMEIS Report No.6			無
34	末近浩太	「イスラーム主義とは何か：政治と宗教の関係を考える(連載「イスラーム主義を読む」(1))」	単著	2021年8月	『治安フォーラム』9月号		pp.47-55	無
35	末近浩太	「『文明の衝突』の正体を見極める：「イスラーム教徒によるテロ事件」の構造とは」	単著	2021年9月	『Voice』10月号		pp.116-123	無
36	末近浩太	「ジハード主義とは何か：宗教と暴力の関係を考える(連載「イスラーム主義を読む」(2))」	単著	2021年9月	『治安フォーラム』10月号		pp.40-48	無
37	末近浩太	「グローバル・ジハードの虚実：脅威の正体を見極める(連載「イスラーム主義を読む」(3))」	単著	2021年10月	『治安フォーラム』11月号		pp.57-66	無
38	末近浩太	“2019 Opinion Poll in Libya: Sampling Method and Descriptive Statistics”	共著	2021年11月	“Relational Studies on Global Crises” Online Paper Series, No. 14, Research Report No. 7	山尾大	pp.1-18	無
39	末近浩太	書評「エリカ・フランツ(上谷直克・今井宏平・中井遼訳)『権威主義：独裁政治の歴史と変貌』(白水社、2021年)」	単著	2021年12月	『国際安全保障』第49巻第3号		pp.120-123	無
40	末近浩太	「『中東世論調査(シリア 2021-2022)』単純集計報告」	共著	2022年2月	CMEPS-J Report No. 58	青山弘之・浜中信吾・高岡豊・山尾大・錦田愛子・今井	--	無

						宏平・溝渕正季		
41	末近浩太	「中東世論調査(リビア 2019)」単純集計報告書	共著	2022年2月	CMEPS-J Report No. 59	山尾大	pp.1-23	無
42	末近浩太	「レバノン・ヒズブラーの「二正面抵抗」のフレーミング:ハサン・ナスルッラー書記長演説の計量テキスト分析」	単著	2022年3月	『日本中東学会年報』第37-II号		pp.31-59	有
43	末近浩太	「中東政治研究におけるイスラーム主義の諸相:「方法論的セキュリティズム」を超えて」	単著	2022年3月	『イスラーム世界研究』第15号		pp.205-221	有
44	野島大輔	核兵器禁止条約と平和・軍縮教育の課題	単著	2022年春	『平和のために』第21号	平和・国際教育研究会 編	pp.72-77	依頼寄稿
45	野島大輔	国際理解教育と国際関係学	単著	2022年3月	現代国際理解教育事典(改訂新版)	日本国際理解教育学会 編著	p.270	依頼寄稿
46	野島大輔	消極的平和と積極的平和	単著	2022年3月	現代国際理解教育事典(改訂新版)	日本国際理解教育学会 編著	p.111	依頼寄稿
47	楊鵬超	「中国の対カンボジア援助とその特徴」	単著	2021年10月	立命館大学国際地域研究所『立命館国際地域研究』		pp.21-44	有
48	廣野美和	Too Little Coordination, Too Much Charity: EU Support for China's Peacebuilding	単著	2021年6月	PEACE LAB, Online			無
49	廣野美和	国際社会の中の中国の立ち位置——一帯一路構想をどう考えるか	単著	2021年8月	慶應義塾『三田評論 Online』			無
50	廣野美和	中国の対アフガニスタン連携とその実像	単著	2021年11月	外務省『外交』		pp.102-107	無
51	竇少杰	316年日本老舗松栄堂: 主動出撃化危為機(316年日本の老舗松栄堂: 積極的な攻めで危機をチャンスに)	単著	2021年4月	家族企業雑誌社『家族企業』68		pp.48-49	無
52	竇少杰	危機に強い日本の長寿家族企業: 老舗「松栄堂」の事例を中心に	単著	2021年4月	商工総合研究所『商工金融』2021年4月		pp.28-47	無
53	竇少杰	COVID-19 影響下におけるアジア中小企業の企業家活動プロセス— 中国・韓国・タイの国際比較 —	単著	2021年7月	立命館大学経営学会『立命館経営学』60(2)		pp.95-130	無
54	竇少杰	少子高齢化下の接班人困境(日本の少子高齢化社会における後継者たちの苦境)	単著	2021年8月	家族企業雑誌社『家族企業』72		pp.50-54	無
55	竇少杰	中国の「職称」制度とその特徴— 衛生医療技術者の事例を中心に —	共著	2021年9月	同志社大学経済学部『経営学論叢』73(2)	横井和彦	pp.1-40	無
56	竇少杰	家族企業的伝承と責任(家族企業の事業承継と責任)	単著	2021年11月	家族企業雑誌社『家族企業』75		pp.66-69	無

3. 研究発表等					
No.	氏名	発表題名	発表年月	発表会議名、開催場所	その他発表者名

1	Jun Honna	Japan's Maritime Non-traditional Security Cooperation in Southeast Asia	2021年7月	8th Workshop on Japan's Security Policy	
2	Jun Honna	"Expert Comment," Preliminary Seminar, ASEAN-IPR Research – Aceh Case: Peace Building and Post-Tsunami Recovery,	2021年11月	ASEAN Institute for Peace and Reconciliation	
3	Jun Honna	"The Law and Politics of Military Callouts in Indonesia's Counterterrorism,"	2021年11月	Webinar on Military Domestic Engagement Focused on the Asia-Pacific Region	
4	Jun Honna	Commentator	2021年11月	Preliminary Seminar, ASEAN-IPR Research – Aceh Case: Peace Building and Post-Tsunami Recovery, organized by ASEAN Institute for Peace and Reconciliation	
5	Jun Honna	The Law and Politics of Military Callouts in Indonesia's Counterterrorism	2021年11月	Webinar on Military Domestic Engagement Focused on the Asia-Pacific Region, organized by Philippine Political Science Association (PPSA) and International Society for Military Law and Law of War (ISMILLW), sponsored by European Research Group on Military and Society (ERGOMAS)	
6	Jun Honna	"Japan's Maritime Non-traditional Security Cooperation in Southeast Asia,"	2021年12月	Asia-Pacific Conference 2021,	
7	Jun Honna	Japan's Maritime Non-traditional Security Cooperation in Southeast Asia	2021年12月	Asia-Pacific Conference 2021, Ritsumeikan Asia Pacific University	
8	Kenki Adachi	"Consequence of Norm Localization: Achievements and Challenges of Localized Human Security in Southeast Asia"	2021年4月	International Studies Association Annual Conference 2021, Virtual Platform	
9	Kenki Adachi	"Adverse Effect of Localization: Human Insecurity Caused by Localized Human Security in Philippines"	2022年2月	Human Security Workshop	
10	Kenki Adachi,	"Global International Relations: From the Japanese Perspective"	2022年3月	International Studies Association Annual Convention 2022, Nashville, USA (virtual platform)	
11	Kyosook Kim	"South Korea's Foreign Aid: The Domestic Politics of Middle Power Diplomacy"	2022年1月	Africa: Crossroad (Scramble) of (Re-)Emerging Powers webinar series 8, Institute of International Relations and Area Studies, Ritsumeikan University (online)	
12	M. Matsuda	"Preliminary survey on agroforestry (dusung) in Ambon Island, Indonesia"	2021年12月	The 8th East Asian Islands and Ocean Forum (EAIOF), Mokpo National University, Republic of Korea (online).	Yamamoto, S., W. Girsang, S. Tomita, I. Hirota
13	Nicholas A.R. Fraser	"Do Historically Ethnic Nations Support Immigrant Integration?"	2021年10月	Annual Meeting of American Political Science Association, Seattle, Washington USA	Charles Crabtree
14	Nicholas A.R. Fraser	"Do Public Health Crises Dampen Public Support for Immigration?"	2021年10月	Annual Meeting of American Political Science Association, Seattle, Washington USA	Michael J. Donnelly
15	Polina Ivanova	"Loneliness and Social Engagement among International Students: A Comparative Perspective,	2021年4月	The Annual Conference of the Comparative and International Education Society (CIES)	Sun, Y., Li, W. & Bista, K.
16	Polina Ivanova	International Student Support 6 Organizations in Japan and Australia: Response to the	2021年9月	International Studies Association (ISA) West Annual Conference	

		COVID-19 Crisis			
17	Polina Ivanova	“Reimagining International Students’ Social Engagement and Support in Japan During the Pandemic: The Role of Civil Society Groups”	2021 年 11 月	Japan-Center Migration Lecture Series, Ludwig Maximilian University of Munich	
18	Polina Ivanova	"Refugee policies and experiences: Japan and Taiwan in comparison”	2022 年 1 月	University of Central Lancashire and Ritsumeikan University (online roundtable)	
19	Polina Ivanova	“Loneliness and Social Engagement of International Students in Japan and the United States: The Human Security Perspective”	2022 年 1 月	The Northern England Policy Centre for the Asia Pacific (NEPCAP) Talk Series, University of Central Lancashire	
20	Polina Ivanova	“International students and their organizations in Japan: Temporalities and shifting patterns of civic engagement”	2022 年 2 月	University of Central Lancashire	
21	Seifudein Adem	“Cultural Interdependence in the New Global Order - an African Perspective”	2021 年 10 月	Africa: Crossroad (Scramble) of (Re-)Emerging Powers webinar series 9, Institute of International Relations and Area Studies, Ritsumeikan University (online)	
22	Sugit Arjon	Presentation	2021 年 12 月	Lightning Talk at the Indonesia Research Council (Kapal) 3rd Research Conference	
23	Sugit Arjon	“The Contribution of Police in the Age of Democratic Decline in Indonesia: Political Motivations and Internal Dynamics,”	2021 年 12 月	11 th Human Security Research Project Research Meeting	
24	Sugit Arjon,	“Peace for Sale: The Cost of Post-Conflict Stability in North Maluku, Indonesia,”	2022 年 2 月	AJI Frontier Seminar	
25	Takuo Iwata	“New Asian Approaches to Africa – Rivalries and Collaborations –”	2021 年 5 月	[Online] 15th International African Studies Conference "DESTINIES OF AFRICA IN THE MODERN WORLD", Institute of African Studies, Moscow, Russia	
26	Yusy Widrahesty	Surviving in the Middle of the Jungle: Precariousness of non- Standard Forms of Employment Case Study Indonesian Part-Time Workers in Japan	2021 年 8 月	the 16th International Conference of the European Association of Japanese Studies in Belgian	
27	Yusy Widrahesty	“The Ambition of Indonesian Technical Intern Trainee Program in Japan”	2021 年 12 月	The 3rd KAPAL Conference (Japanese Association of Indonesian Studies)	
28	Yusy Widrahesty	“Precarious cycle of the Indonesian Technical Internship Trainee Program/TITP from Pre-Departure to Destination Country in Japan”	2022 年 1 月	Lancashire University, UK	
29	Yusy Widrahesty	Japan Young Generation: Nationalism and Social Movement,”	2022 年 1 月	BRAUSC Brawijaya Undergraduate Student Conference, Indonesia	
30	クロス京子	「脅かされる先住民の人間の安全保障—フィリピンの事例から」	2022 年 3 月	「東南アジアにおける人間の安全保障」研究会	
31	井出文紀	「日本酒の国際化と地方蔵元の挑戦～長野県、岐阜県の事例を中心に～」	2021 年 7 月	第 13 回多国籍企業学会全国大会、弘前大学(オンライン開催)、共通論題報告	
32	井上 博	サービス貿易とグローバル・バリュー・チェーン	2021 年 6 月	日本国際経済学会第 10 回春季大会、名古屋学院大学	
33	岡野英之	「ゾミアに引かれた国境線を越える —タイ=ミャンマー	2021 年 5 月	日本文化人類学会 2021 年度大会、オンライン	

		国境地帯における統治の浸透とシヤン人移民の歴史的変遷—			
34	岡野英之	「タイ国境から見たクーデター後のミャンマー」東南アジア分科会 II「民主化過程の統治が抱える課題」	2021年10月	日本国際政治学会 2021年度大会、オンライン	
35	角本和理	社会的共通資本としてのスーパーシティと私法上の自律・プライバシー	2021年11月	日本不動産学会秋季全国大会シンポジウム「大阪府・市が提案する大阪市のスーパーシティ構想と近未来におけるスーパーシティの都市社会の課題」	
36	角本和理	不法行為法の目的を「尊厳の保障」に求めるということ—私法上の人間像の変遷を踏まえて	2022年1月	北海道大学民法研究会	
37	宮脇昇	「大学の学びを変える「ハイブリッド」ゲーミング」	2021年5月	日本シミュレーション&ゲーミング学会 春期全国大会（オンライン開催）	
38	宮脇昇	「グローバル・リスクと国際制度」	2021年6月	日本公共政策学会大会（オンライン開催）	
39	宮脇昇	「日本海に接近したいモンゴル 日本海をいかに渡るか?」「エネルギーがつなぐ環日本海経済圏とユーラシア」	2021年8月	東北公益文科大学オンラインセミナー	
40	宮脇昇	「国際レジームの争点領域 新自由主義制度論の見地から」	2021年10月	日本国際政治学会（オンライン開催）	
41	宮脇昇	“Cold War Revisited: Two Democracies, Deterrence, and Alliances in the Second Cold War” At the Annual International Conference on Northeast Asian Security, Institute of Defense Studies in Mongolia	2021年12月	モンゴル(オンライン)	
42	君島東彦	東アジアの平和にとって日本国憲法とは何か?	2021年11月	上海、復旦大学日本研究センター主催・国際シンポジウム「グローバルな政治変動における中日米関係」オンライン参加	
43	山根和代	Challenges of Peace Education at Museums for Peace	2021年10月	Peace Education Commission, IPRA: Moscow	Balkrishna Kurvey
44	山根和代	Museums for Peace and Reconciliation in East Asia	2021年10月	“Museums for Peace: In search of history, memory, and change” University of Wisconsin	Roy Tamashiro, Joyce Apsel, Clive Barrett, Kimberly Baker, Satoko Oka Norimatsu, Shiho Maebara
45	山根和代	Peace Histories at the Kyoto Museum for World Peace	2021年10月	Peace History Society: Kennesaw University in Georgia, USA	Roy Tamashiro, Joyce Apsel, Clive Barrett
46	山根和代	そうだ 平和博物館へ行こう	2021年10月	Peace Boat、オンライン	
47	山根和代	国際平和博物館会議の成果と課題	2021年11月	日本平和学会平和教育分科会、オンライン	
48	朱曄	民法典の施行と司法解釈の整理	2022年2月	国際学術シンポジウム「中国民法典の施行と解釈」	陳龍業
49	朱曄	AI 技術革新と高齢者のデータ「銀行」をめぐる法的模索—高齢者介護から生じるデータの利活用を中心に	2022年3月	国際学術シンポジウム「AI技術革新に伴う東アジアの法整備状況」	
50	小山大介	COVID-19 パンデミックと各国・機業の対応: マスク外交の視点から	2022年10月	基礎経済科学研究所 2021年研究大会	
51	小田美佐子	歴史的慣性—民法典における債権総則の取捨	2022年2月	国際学術シンポジウム「中国民法典の施行と解釈」	朱慶育
52	小田美佐子	台湾における個人情報保護法制の発展と展望	2022年3月	国際学術シンポジウム「AI技術革新に伴う東アジアの法整備状況」	陳聡富

53	小田美佐子	東アジアにおける立憲主義と監視国家	2022年3月	国際学術シンポジウム「AI技術革新に伴う東アジアの法整備状況」	Dongsheng Zang
54	松田正彦	「ミャンマー農業の在来知と科学知—ドライゾーンの遺伝子組換えワタ」	2021年5月	ビルマ研究会・2021年度大会、オンライン開催	
55	松田正彦	「現代ミャンマーの百姓と東南アジアの脱農化／農業化」	2021年7月	関西農業史研究会・第390回例会、大阪経済大学	
56	松田正彦	「インドネシアマルク州アンボン島のアグロフォレストリーに関する予備的調査」	2021年11月	日本熱帯農業学会・第130回講演会、オンライン	山本宗立、Wardis Girsang、富田晋介、広田勲
57	松田正彦	「東南アジア農村の生業構造を表す簡易指標—生計多様度指数の標準化と簡便化」	2021年11月	日本熱帯農業学会・第130回講演会、オンライン	富田晋介、広田勲、山本宗立
58	森原康仁	NEBM(ニューエコノミー・ビジネスモデル)とウィンテリズム—「株主価値重視経営」がもたらした産業組織の制度的限界—	2021年7月	日本比較経営学会 第46回全国大会(オンライン)	
59	石川幸子	Operationalization of the R2P in collaboration with human security concept	2021年9月	Japan National Dialogue on the Responsibility to Protect and Atrocities, Prevention, 上智大学	
60	村上剛	“Beyond Racial Prejudice.”	2021年10月	日本国際政治学会研究大会、名古屋大学(オンライン)	
61	池端路子	“The Islamic Face of a Pro-western Arab Monarchy, Jordan: An Analysis of Works of Its Royal Hashemite Family”	2021年6月	The British Society for Middle Eastern Studies (BRISMES) Annual Conference 2021(オンライン開催)	
62	池端路子	「宗教の国際政治」というアーナ創出—規範形成に挑戦するヨルダンとイスラーム諸国—	2021年10月	日本国際政治学会・中東分科会(オンライン開催)	
63	池端路子	Collective Ijtihad and Consensus Making: Evaluating the Roles and Significance of International Islamic Legal Academics	2021年12月	The 19th Asia Pacific Conference, Ritsumeikan Asia Pacific University	
64	池端路子	宗教復興後の国際規範と国家の正統性: イスラーム協力機構の事例から	2021年12月	笹川平和財団「現代若手中東研究会」第1回「現代中東の国家と宗教」	
65	中川涼司	共通論題「中国のグローバル化と社会変貌—中国の国連代表権承認50年とも関わって—」趣旨説明	2021年6月	日本現代中国学会関西西部会大会、オンライン	
66	中本悟	日本国際経済学会会長講演「米中二つの資本主義体制の経済摩擦の構造とそのゆくえ」	2021年10月	日本国際経済学会第80回大会(東京大学)	
67	陳晋	世界ドローン最大手 DJI のプラットフォーム構築に関する分析	2021年9月	アジア経営学会第28回全国大会(オンライン)	
68	田村あずみ	Creating Ethical Agency in Post-Disaster Japan: Anti-Nuclear Protesters' 10 Years of Struggle	2021年4月	The Association of Social Anthropologists of the UK (ASA) 2021 Conference, University of St. Andrews, UK (Online)	なし
69	白戸圭一	「アフリカ研究者は東南アジアの人間の安全保障研究から何を学ぶか」	2022年3月	「東南アジアにおける人間の安全保障」研究会	
70	米田優作	現代中東におけるサラフィー主義の実態的な理解に向けて: 最近の研究動向から	2022年1月	中東・イスラーム研究の課題と展望: ポストコロナ時代へむけて(オンライン開催)	

71	本名純	コロナ禍の政治リーダーたち:パフォーマンスと評価	2021年9月	日本インドネシア協会講演会	
72	本名純	「感染症対策への軍の動員:インドネシアの事例から」	2022年3月	「東南アジアにおける人間の安全保障」研究会	
73	本名純	グローバルヘルスセキュリティにおける国軍の役割:コロナ危機下のインドネシアの事例	2022年3月	ウェビナー『東南アジアにおける人間の安全保障』立命館大学国際地域研究所	
74	本名純	コロナ禍の武闘派大衆組織	2022年3月	スルヤチプタ工業団地・イーストジャカルタ工業団地合同特別セミナー講演	
75	末近浩太	“Critical Geopolitics of the Syrian Conflict: The Territorial Partitions of <i>Bilad al-Sham</i> and Beyond”	2021年5月	Panel 6B “Critical Perspectives on Eastern Mediterranean Security,” The 23rd Mediterranean Studies Association Annual International Congress, University of Gibraltar, GIBRALTAR (online)	
76	末近浩太	“Israeli Zionists or Syrian Takfiris: A Quantitative Analysis of Hezbollah’s Framing of Resistance”	2021年7月	Panel RC42.04 “Evolving Methodologies in the Study of Middle East Politics,” The IPSA 26th World Congress of Political Science, “New Nationalisms in an Open World,” Lisbon, PORTUGAL (online)	
77	末近浩太	「「地域」から時空論を考え(てみる)」	2021年9月	科学研究費補助金・基盤研究(B)「グローバル関係論の時間論的基礎付けのための比較理論研究」研究会	
78	末近浩太	“Hezbollah’s Framing of Resistance: A Quantitative Text Analysis of Hasan Nasrallah’s Speeches, 2005-18”	2021年10月	The KAMES-AFMA International Conference, Seoul, KOREA (online)	
79	末近浩太	“Hezbollah’s Framing of the Two-front Resistance: A Quantitative Analysis of Hasan Nasrallah’s Speeches”	2021年11月	P6596 “Armed Non-State Actors and their Quest for Legitimacy,” Middle East Studies Association (MESA), The 55th Annual Meeting, Montreal, CANADA (online)	
80	末近浩太	「アラブの春」後のリビアにおける国家再建と民主化:2019年実施の世論調査の結果から」	2021年11月	現代中東研究コロキウム(北海学園大学)	山尾大
81	末近浩太	「イスラーム主義」と問い直す:中東・イスラーム世界における政教関係の動態的把握に向けて」	2021年11月	科学研究費補助金・基盤研究(A)「現代イスラームにおける法源学の復権と政治・経済の新動向:過激派と対峙する主流派」政治研究会「現代イスラーム政治と宗教をめぐる視点と枠組み」科学研究費補助金・基盤研究(B)「現代中東における政治と宗教:「アラブの春」以降のムスリム同胞団を事例に」合同研究会(オンライン開催)	米田優作
82	末近浩太	「イスラーム革命防衛隊の海外派遣をめぐるイラン市民の認識:2021年サーベイ実験の結果から」	2022年3月	科学研究費補助金・新学術領域研究(研究領域提案型)計画研究 B02「越境的非国家ネットワーク:国家破綻と紛争」研究会(オンライン開催)	千坂知世・山尾大
83	野島大輔	平和教育学にとっての「基礎」となる研究をどう共有するか	2022年2月	第7回 平和教育学フォーラム 於・京都教育大学/オンライン	村上登司文、浅川和也
84	楊秋麗 中川涼司	中国市場における資生堂のブランド戦略の変化ー市場のアップグレードとEC 発展への対応ー	2021年9月	アジア経営学会第28回全国大会(オンライン)	
85	楊鵬超	「中国の対カンボジア援助とその特徴」	2021年10月	2021年度中国経済経営学会全国大会	
86	廣野美和	Belt and Road Initiative and Its Implications for Japan	2021年9月	Australian National University, Japan Institute	
87	廣野美和	The Challenges of DMHA at the Local Level and the Attributes of Local Knowledge	2021年9月	Locally-led Disaster Management and Humanitarian Assistance in Asia,” Ritsumeikan University Asia-Japan Research Institute online workshop for	

				students	
88	廣野美和	一帯一路:集権化と分散化	2021年9月	専修大学社会科学研究所研究会	
89	廣野美和	“Challenges of DMHA at the Local Level “and “The DMHA Analytical Framework: The Manifestations of Local Knowledge	2021年10月	Module1: Understanding the Locally-Led Disaster Management and Humanitarian Assistance (DMHA) Analytical Framework, Locally-Led Disaster Management and Humanitarian Assistance (DMHA) in Asia Online Course, Asia-Japan Research Institute, Ritsumeikan University	
90	廣野美和	Diaspora as the Linchpin of Local and International Humanitarian Actors: A Case of Chinese in Aceh in the Aftermath of 2004 Earthquake	2021年10月	Module 2: Recognizing Successful Locally-led DMHA Initiatives and Challenges, Locally-Led Disaster Management and Humanitarian Assistance (DMHA) in Asia Online Course, Asia-Japan Research Institute, Ritsumeikan University	
91	廣野美和	Local knowledge as the basis of Disaster Management in Asia	2021年10月	ANU Japan Institute Seminar Series, online	Riza Mahammad Nurdin, Takeyuki Okubo, Maria Tanyag and Yasuko Hassall Kobayashi
92	廣野美和	一帯一路と世界秩序:沿線国の総選挙から見る対中観の変容	2021年11月	慶応義塾大学大学院法学研究科『プロジェクト科目Ⅰ:地域研究・比較政治論(第2回)』	
93	廣野美和	中国を如何に捉え、どう向き合うか中国の対外行動を突き動かしているダイナミクスを読む	2021年11月	日本国際フォーラム シリーズセミナー第4回、研究会『中国の対外的行動分析枠組みの構築』	
94	廣野美和	Local Knowledge as the Basis of Disaster Management in Asia	2022年2月	The 2022 International Symposium of Asia-Japan Research Asia-Japan Research Beyond Borders: Global Sharing of Local Wisdom Towards Human Longevity, Asia-Japan Research Institute, Ritsumeikan University	
95	廣野美和	Reimagining Humanitarian Architecture for the Future in a Complex Era	2022年2月	2022 APRU Multi-Hazards Webinar Series	
96	廣野美和	The DMHA Analytical Framework: Local Knowledge as the Basis of Disaster Management and Humanitarian Assistance	2022年2月	Module1: Understanding the Locally-Led Disaster Management and Humanitarian Assistance (DMHA)Analytical Framework, Locally-Led Disaster Management and Humanitarian Assistance (DMHA) in Asia Online Course, Asia-Japan Research Institute, Ritsumeikan University	
97	廣野美和	中国国連平和維持活動における政策過程:中国政策アクターの「学び」と集権的リーダーシップ	2022年2月	日本国際フォーラム2021年度第11回定例研究会合、研究会『中国の対外的行動分析枠組みの構築』	
98	廣野美和	China's Influences in the Making of the Global Security Order: Insiders' Perceptions of China's Peacebuilding	2022年3月	International Studies Association, online	
99	廣野美和	Continuities and Changes in China's Policy of Non-Intervention in Other Countries' Domestic Politics	2022年3月	RSIS Workshop on “China Protecting Its Overseas Interests, China Programme, Institute of Defense and Strategic Studies (RSIS), Nanyang Technological University (NTU), Singapore, online	
100	廣野美和	ご存知ですか?「新たな学びを経験した高校生」～立命館守山高校の探求学習を例に～	2022年3月	立命館大学教学部/教育・学修支援センター/一貫教育部	
101	竇少杰	家族治理的關鍵(家族経営の重要なポイント)	2021年4月	『家族企業』雑誌 CFBR 事業承継モデル国際フォーラム(オンライン)	

102	竇少杰	京都の老舗企業	2021年7月	第50回京都産業学研究会(オンライン)	
103	竇少杰	中国の「職称」制度とその特徴	2021年7月	日本比較経営学会第46回全国大会(オンライン)	
104	竇少杰	日本の長寿家族企業の特徴: 東アジアの共通性と多様性	2021年12月	国際後継者フォーラム第10回後継者アカデミー合同講義(東京)	

4. 主催したシンポジウム・研究会等

No.	発表会議名	開催場所	発表年月	来場者数	共催機関名
1	第1回CAPS研究会	オンライン	2021年5月	15名	アジア・日本研究推進プロジェクト
2	第2回CAPS研究会	オンライン	2021年5月	25名	アジア・日本研究推進プロジェクト
3	第3回CAPS研究会	オンライン	2021年6月	25名	アジア・日本研究推進プロジェクト
4	第4回CAPS研究会	オンライン	2021年6月	20名	アジア・日本研究推進プロジェクト
5	第5回CAPS研究会	オンライン	2021年6月	20名	アジア・日本研究推進プロジェクト
6	第6回CAPS研究会	オンライン	2021年10月	20名	アジア・日本研究推進プロジェクト
7	第7回CAPS研究会	オンライン	2021年11月	20名	アジア・日本研究推進プロジェクト
8	第8回CAPS研究会	オンライン	2021年11月	15名	アジア・日本研究推進プロジェクト
9	第9回CAPS研究会	オンライン	2021年11月	20名	アジア・日本研究推進プロジェクト
10	第10回CAPS研究会	衣笠キャンパス(ハイブリッド)	2021年11月	25名	アジア・日本研究推進プロジェクト
11	第11回CAPS研究会	オンライン	2021年12月	15名	アジア・日本研究推進プロジェクト
12	【ウェビナー】中東・イスラーム研究の課題と展望 ポストコロナ時代へむけて	オンライン	2022年1月		アジア日本研究所
13	【Webinar】Refugee policies and experiences: Japan and Taiwan in comparison	オンライン	2022年1月	30名	The Northern Institute of Taiwan Studies/ INSTITUTE FOR THE STUDY OF THE ASIA PACIFIC/ Northern England Policy Centre for the Asia Pacific/ UCLan Research Centre for Migration, Diaspora and Exile/ University of Central Lancashire
14	【ウェビナー】『人びとのなかの冷戦世界—想像が現実となるとき』	オンライン	2022年2月	60名	国際関係研究科
15	第12回CAPS研究会	オンライン	2022年2月	15名	アジア・日本研究推進プロジェクト
16	ウクライナ危機と世界 戦争・平和・勢力圏・民主主義のパネリスト	オンライン	2022年3月	180名	
17	モンゴルと日本の50年 国際政治と防災協力	オンライン	2022年3月	30名	
18	【ウェビナー】東南アジアにおける人間の安全保障	オンライン	2022年3月	15名	アジア・日本研究推進プロジェクト
19	Multilateral Actors and Transnational Norms in Global Governance	オンライン	2022年3月	60名	グローバル・ガバナンス学会
20	第1回中国市場ビジネス戦略研究会(「味の素(株)の海外事業展開」)	立命館大学大阪茨木キャンパス	2021年6月	90名	
21	第2回中国市場ビジネス戦略研究会(「キャッシュレス国家「中国新経済」の光と影」)	立命館大学大阪茨木キャンパス	2021年12月	70名	
22	“International Workshop for Young Africanists II” [Africa: Crossroad (Scramble) of (Re)Emerging Forces – Webinar Series 5]	オンライン	2021年6月	32名	Institute of African Studies (Hankuk University), Center for African Area Studies (Kyoto University)
23	“Japan and South Korea’s assistance for democracy in Africa” [Africa: Crossroad (Scramble) of (Re)Emerging Forces – Webinar Series 6]	オンライン	2021年7月	45名	

24	“Cultural Interdependence in the New Global Order - an African Perspective” [Africa: Crossroad (Scramble) of (Re)Emerging Forces – Webinar Series 7]	オンライン	2021年10月	10名	
25	“South Korea’s Foreign Aid: The Domestic Politics of Middle Power Diplomacy” [Africa: Crossroad (Scramble) of (Re)Emerging Forces – Webinar Series 8]	オンライン	2022年1月	15名	
26	「戦争体験継承のダイナミクス 一新刊『なぜ戦争体験を継承するのか』と対話する」	オンライン	2021年4月	81名	
27	第1回平和主義研究会	オンライン	2021年7月	16名	
28	第2回平和主義研究会	オンライン	2021年9月	20名	
29	第3回平和主義研究会	オンライン	2021年10月	19名	
30	第4回平和主義研究会	オンライン	2022年1月	17名	

5. その他研究活動（報道発表や講演会等）				
No.	氏名	研究業績名	発表場所等	研究期間
1	Nicholas A.R. Fraser	“Vulnerability in the Canadian Protection Regime: Research Report on the Policy Framework”	VULNER Research Report, 1.	
2	Polina Ivanova	"International Student Support Organizations in Japan and Australia: Areas of Involvement and Response to the COVID-19 Crisis"	Hokkaido University	2021年6月26日
3	Polina Ivanova	Before and During the Pandemic: Civil Society Groups and International Students in Japan and Australia”, Research Centre for Migration, Diaspora and Exile (MIDEX)	University of Central Lancashire	2021年6月29日
4	Polina Ivanova Yi Sun Bista Krishna	"Loneliness and Social Engagement of International Students in Japan and the United States: The Human Security Perspective"	NEPCAP Policy Brief02 (2021) https://docdro.id/cNjDKwu	2021年
5	Yusy Widrahesty	Barter Issues Between Indonesia and Japan Under the Technical Intern Trainee Program,”	Japanese Studies Area, University of Indonesia (UI) for the Program of Graduate School Seminar	2021年8月14日
6	Yusy Widrahesty	Japan’s Muslim Friendly Policy in Workplace,	The Japan Foundation Jakarta, Indonesia	2021年8月27日
7	Yusy Widrahesty	“No way home and no way in! COVID-19 and Indonesian workers in Japan”	New Mandala	2022年3月2日
8	クロス京子	移行期正義分野における日本の対東ティモール支援	『独立から 20 年を振り返る: 日本の対東ティモール支援』早稲田大学国際平和戦略研究所	2021年9月16日
9	井出文紀	2021年度日本国際経済学会関西支部公開シンポジウム「SDGs と国際経済研究の課題」コーディネーター	大阪私学会館	2021年11月6日
10	宮脇昇	「国境閉鎖と内陸国」	立命館土曜講座(オンライン)	2021年9月25日
11	宮脇昇	「110年の時を超えて」	四国放送ラジオ番組(オンライン)	2022年2月20日
12	山根和代	講演「海外と日本の平和博物館ネットワークを通して、非核の世界を」	非核の政府を求める京都の会	2021年6月9日
13	山根和代	マイク望月「9.11 とその影響に関する個人的考察」の和訳	『9.11 から 20 年: 人類は教訓を手に入れたのか』(かもがわ出版)	2021年7月
14	山根和代	核フォーラム「ICJ 核兵器勧告意見 5 周年記念特別企画」に参加して 平和教育について考えさせられたこと	「反核法律家」108号 2021年秋号	2021年9月
15	松田正彦	「ミャンマーの現状を理解するために」	立命館大学・国際平和ミュージアム平和教育・研究センター講演会	2021年4月24日
16	森原康仁	コロナ不況での大盤振る舞いの財政で、止まらないバブル	『ミュージック・マガジン』第53巻第8号	

17	森原康仁	書評 ウィリアム・I・ロビンソン著『グローバル警察国家』	『経済』第318号	2022年3月
18	申鉦昨	東アジアユースの創造力	日中平和学オンライン交流会(愛知大学)	2021年12月
19	足立研幾	「核共有、ウクライナ危機で注目 専門家「現実」に目を」(識者コメント)	産経新聞	2022年3月11日
20	池端路子	学問は「あたりまえ」を相対化してくれる処方箋:とある若手中東地域研究者の事例から	金沢大学附属高等学校において卒業生による特別授業(オンライン開催)	2021年12月11日
21	中川涼司	今日の話題「2022年の中国経済の展望」	『国際貿易』日本国際貿易促進協会	2022年2月5日
22	中川涼司	今日の話題「一带一路の曲がり角？」	『国際貿易』日本国際貿易促進協会	2022年3月5日
23	田村あずみ	市民運動の現在地:不完全でも無力ではない抵抗	京都新聞夕刊 人文知のフロンティア	2021年5月26日
24	田村あずみ	脱原発デモの先へ: 個々を尊重 軟らかい器必要	北海道新聞 各自核論	2021年6月10日
25	渡邊英俊	書評 松下洸著『ラテンアメリカ研究入門ーく抵抗するグローバル・サウス>のジェンダー』	『歴史と経済』第254号, pp.44-46	2022年1月
26	嶋田晴行	人道支援に立ちはだかるタリバン脅威(報道)	NHK BSI 国際報道2021	2021年9月6日
27	嶋田晴行	アフガニスタンを考えるー和平交渉の経緯、タリバンは変わるのか、日本の役割(コメンテーター)	JICA 緒方貞子平和開発研究所	2021年9月6日
28	嶋田晴行	緊急集會「アフガニスタン問題を考えるーイスラームとジェンダーの視点からー」(パネリスト)	科研費基盤研究(A) イスラーム・ジェンダー学と現代的課題に関する応用的・実践的研究(代表:長沢 栄治)オンライン	2021年9月13日
29	嶋田晴行	アフガニスタンの現状を理解するために(講演会)	立命館大学国際平和ミュージアム平和教育・研究センター	2021年10月2日
30	嶋田晴行	「アフガニスタンの現状を理解するために」	立命館大学国際平和ミュージアム 平和教育・研究センター講演会(オンライン)	2021年10月9日
31	嶋田晴行	「アフガン女性へ真の支援を タリバン＝悪では解決しない／彼らの価値観に寄り添って」インタビュー記事	毎日新聞 夕刊	2021年11月25日
32	嶋田晴行	「アジア共同体の可能性ーアフガニスタンの現状を理解するために」	山口大学経済学部	2021年12月21日
33	嶋田晴行	アフガニスタンは今ーアフガニスタンを知る(講演会)	山口市男女共同参画センター(オンライン)	2022年2月26日
34	白戸圭一		朝日新聞 Globe+、計6回	2021年4月から
35	白戸圭一	「朝日新聞阪神支局襲撃事件から34年をきっかけに知る～メディア・リテラシー入門」	TBSラジオ荻上チキのSession	2021年5月3日
36	白戸圭一	「アフリカ情勢について」	令和3年度外務省総合職・専門職後期研修(オンライン講演)	2021年5月18日
37	白戸圭一	コロナ禍のアフリカで横行する「超法規的殺人」と「メディア規制」	『新潮社フォーサイト』	2021年6月16日
38	白戸圭一	「国際理解ゼミナール講演 現代アフリカを学び、明日の日本を考える」	宝塚市立南口会館	2021年7月1日
39	白戸圭一	「今後のアフリカ開発の在り方」	日本経団連講演会(オンライン講演)	2021年8月23日
40	白戸圭一	“Africa: Continent of growth and population explosion”	早稲田大学国際寮研修(オンライン)	2021年11月9日
41	白戸圭一	対アフリカ投資に関するパネディスカッション	経済産業省主催 第2回日アフリカ官民経済フォーラムサイドイベント	2021年12月6日
42	白戸圭一	「日本企業の生き残りに向けたアフリカビジネス」	西武ホールディングス公開講座(オンライン)	2022年1月20日
43	米田優作	科研・基盤 A イスラーム・ジェンダー学と現代的課題に関する応用的・実践的研究主催「巣ごもり読書会『再帰的近代のアイデンティティ論:ポスト9.11時代の第2世代ムスリム』開催報告文執筆	http://islam-gender.jp/news/262.html http://islam-gender.jp/content/files/20210521_Report.pdf	2021年6月
44	本名純	コラム「メラブティ」	じゃかるた新聞 一面、計12回掲載	2021年4月-2022年3月

45	本名純	インドネシア政治ウォッチ	月刊インドネシア、計12回掲載	2021年4月-2022年3月
46	末近浩太	“Japanese Professor calls Iran-China partnership epoch-making (Interview)”	Tehran Times	2021年4月19日
47	末近浩太	現代の言葉	『京都新聞』夕刊, 1面, 合計5回	2021年5月-2022年3月
48	末近浩太	「9.11」不信の世紀が始まった(あすへの考)	『読売新聞』朝刊, 7面	2021年9月26日
49	末近浩太	「9.11」から20年:「不信の世紀」超克へ第三の道を(特集 国際社会の混迷と模索)	『読売クオーターリー』2021年秋号, 2021年10月, pp. 38-47.	2021年10月
50	末近浩太	「9.11」から二十年目のカブール陥落: 私たちは何をどう考えるのか	『日本再生』第510号, pp. 6-8.	2021年11月1日
51	末近浩太	「激動の中東情勢を読む」	兵庫県阪神シニアカレッジ・国際理解学科	2021年4月20日
52	末近浩太	「中東における「宗教と政治」	兵庫県阪神シニアカレッジ・国際理解学科	2021年4月20日
53	末近浩太	「イスラーム主義の挑戦」	兵庫県阪神シニアカレッジ・国際理解学科	2021年4月26日
54	末近浩太	「イスラームとは何か」	兵庫県阪神シニアカレッジ・国際理解学科	2021年4月26日
55	末近浩太	「激動の中東情勢を読み解くために:「幕末」としての現代史」	国際理解ゼミナール	2021年6月3日
56	廣野美和	「一带一路は何をもたらしたのか〜中国問題と投資のジレンマ」	第7回ブックラウンジアカデミア	2021年4月28日
57	廣野美和	Debating China's Foreign Policy: Disruptive or Constructive, Perceptions from the Lesser-Power States	The 12 th International Convention of Asia Scholars, Kyoto Seika University (Discussant)	2021年8月27日

6. 受賞学術賞					
No.	氏名	授与機関名	受賞名	タイトル	受賞年月
1	米田優作	立命館大学大学院キャリアパス推進室	2021年度立命館大学大学院リサーチプロポージャーコンテスト優秀賞	サラフィー主義ネットワークの実証研究: 現代中東におけるイスラームの保守展開と政治介入の動態解明のために	2021年11月
2	米田優作	第3回中東・イスラーム研究公開シンポジウム審査委員会	明星賞	現代中東におけるサラフィー主義の実態的な理解に向けて: 最近の研究動向から	2022年1月
3	Polina Ivanova	The Asia-Japan Research Institute of Ritsumeikan University	, Best Article of 2021 (Silver)	International Student Support Organizations in Japan and Australia: Response to the COVID-19 Crisis	2022年2月
4	田村あずみ	日本平和学会	第8回日本平和学会平和研究奨励賞	Post-Fukushima Activism: Politics and Knowledge in the Age of Precarity, Routledge, 2018 (hardcover), 2020 (paperback), 『不安の時代の抵抗論——災厄後の社会を生きる想像力』(花伝社, 2020年)	2021年11月

7. 科学研究費助成事業						
No.	氏名	研究課題	研究種目	開始年月	終了年月	役割
1	角本和理	不法行為法における「違法性」要件の意義再考: AI時代の到来を契機として	若手研究	2020年4月	2024年3月	代表
2	玉井雅隆	構造変革期における経済制裁の変容	基礎研究(C)	2021年4月	2024年3月	代表
3	君島東彦	憲法平和訴訟の国際比較研究	基盤研究(C)	2020年4月	2023年3月	代表
4	守政毅	企業家ネットワーク形成と社会関係資本の獲得を促すネットワーク組織に関する研究	基盤研究(C)	2021年4月	2026年3月	代表
5	松村博行	科学技術イノベーションの遍在化が国家安全保障に与える影響—米国を事例として—	基盤研究(C)	2019年4月	2023年3月	代表

6	松田正彦	「脱農業化」する東南アジアに求められる熱帯農業理論の構築	基盤研究(B)	2018年4月	2023年3月	代表
7	申鉦昨	憲法平和条項の国際比較研究	基盤研究(C)	2020年4月	2023年3月	分担
8	申鉦昨	ドイツ・韓国における兵役拒否者／運動の比較研究 ―立憲主義的観点から	基盤研究(C)	2021年4月	2024年3月	分担
9	足立研幾	「セキュリティ・ガバナンス概念の再検討」	基礎研究(C)	2017年4月	2022年3月	代表
10	足立研幾	包括型コミュニティ・ポリシング: 東南アジアにおける武装組織の社会統合モデル	基盤研究(B)	2020年4月	2023年3月	分担
11	池端路子	現代イスラーム世界の分断と統合: グローバル法学による合意形成と宗派対立の克服	特別研究員奨励費(PD)	2019年4月	2022年3月	代表
12	中川涼司	中国多国籍企業の発展の現段階と中所得国多国籍企業論	基盤研究(C)	2018年4月	2023年3月	代表
13	陳晋	外部環境の変化に伴う中国製造業企業の成長戦略と競争力に関する研究	基盤研究(C)	2020年4月	2023年3月	代表
14	田村あずみ	3・11後の社会運動の国際的意義―民主主義の危機における「身体性の政治哲学」構想	若手研究	2019年4月	2023年3月	代表
15	白戸圭一	2010年代日本の対アフリカ政策〜「反応」から「戦略」への転換を検証する	基礎研究(C)	2020年4月	2023年3月	代表
16	本名純	北朝鮮の体制の持続性の根拠: 中東・東南アジア・アフリカとの国際的ネットワーク	基盤研究(B)	2020年4月	2024年3月	分担
17	本名純	インフォーマル化するアジア: グローバル化時代のメガ都市のダイナミクスとジレンマ	基盤研究(A)	2019年4月	2024年3月	分担
18	本名純	東アジア秩序再編と統合の進展における日中ASEAN	基盤研究(B)	2020年4月	2023年3月	分担
19	本名純	包括型コミュニティ・ポリシング: 東南アジアにおける武装組織の社会統合モデル	基盤研究(B)	2020年4月	2023年3月	分担
20	末近浩太	計量テキスト分析を用いた現代中東における新たな政治的動員に関する実証研究	基盤研究(B)	2019年4月	2022年3月	代表
21	廣野美和	中国の国際紛争における役割: 「不介入主義」の現実	基盤研究(C)	2017年4月	2022年3月	代表
22	廣野美和	一帯一路と世界秩序: 沿線国の総選挙から見る対中観の変容	基盤研究(C)	2021年4月	2025年3月	代表
23	竇少杰	家族企業の事業承継問題に関する日中台の国際比較研究	基盤研究(C)	2017年4月	2022年3月	代表

8. 競争的資金等(科研費を除く)

No.	氏名	研究課題	資金制度・研究費名	採択年月	終了年月	役割
1	宮脇昇	「With コロナ時代における国境管理を題材としたゲーミングの開発及び実施を通じた国境管理に対する学生の意識変化の調査研究」	科学技術融合振興財団・調査研究助成	2021年3月	2023年2月	分担
2	宮脇昇	「大学の学びを変えるハイブリッド・ゲーミングの比較検証の研究」	Post コロナ学内提案公募型プロジェクト	2021年9月	2022年3月	代表
3	Polina Ivanova		University of Central Lancashire Research Centre for Migration, Diaspora and Exile (MIDEX) Research Funding	2021年12月		
4	岡野英之	「隣国タイにおける難民・移民の政治運動・社会運動は、ミャンマーの民主化にいかなる影響を与えているのか」	旭硝子財団、2021年度人文科学助成(サステナブルな未来への研究助成)	2021年4月	2022年3月	
5	角本和理	新型コロナウイルス問題対応の法制度論的(法政策論的)考察	日本学術振興会 課題設定による先導的人文科学・社会科学研究推進事業	2020年11月	2023年3月	分担

9. 知的財産権

No.	氏名	名称	出願人 区分	発明人 区分	出願番号	公開番号	登録（特許）番号	国
1	宮脇昇	特許(国内)	本人单独	筆頭発明者	2021-25096	521095591 ASIF-01	6448994	日本